

国立国会図書館
科学技術に関する調査プロジェクト2023シンポジウム

日本の宇宙政策を考える —今後10年のために何をすべきか—

令和5年9月22日（金）

14:00～17:00

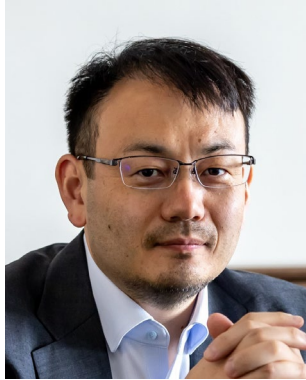
令和4年度科学技術に関する調査プロジェクト「宇宙空間の利用をめぐる動向と課題」の成果、令和5年6月に改定された「宇宙基本計画」及び初めて決定された「宇宙安全保障構想」を踏まえ、宇宙の研究・開発・利用の関係（発展段階）、防衛・安全保障分野と民生分野の関係（軍民関係）、政府と民間の役割分担（官民関係）の観点から、今後10年の日本の宇宙政策の課題を確認し、そのために何をすべきかを各分野の専門家による報告とパネルディスカッションを通じて展望します。

登壇者一覧

◇ファシリテータ

わたなべ ひろたか

渡邊 浩崇



名古屋大学大学院情報学研究科特任教授・国立国会図書館客員調査員

大阪大学COデザインセンター特任教授等を経て、2023年から現職。2023年から国立国会図書館客員調査員。米国ジョージ・ワシントン大学国際関係エリオットスクール宇宙政策研究所在外研究者。国際学術雑誌『Astropolitics』編集委員。内閣府宇宙政策委員会臨時委員（調査分析部会、2013年～2014年）。博士（法学）。専門は国際政治学、外交史、宇宙政策、宇宙法。

関連著作：『宇宙の研究開発利用の歴史—日本はいかに取り組んできたか—』（編著、大阪大学出版会、2022年）、「ジョンソン政権の宇宙政策—アポロ計画と国際協調—」『阪大法学』（大阪大学法学会、2021年11月）、「冷戦とアポロ計画—米国宇宙政策における競争と協力—」（博士論文・大阪大学、2010年9月）。

◇パネリスト

はしもと やすあき

橋本 靖明



防衛省防衛研究所政策研究部軍事戦略研究室主任研究官

防衛研究所にて、研究室長、研究部長等を歴任。2020年から現職。駒澤大学講師、政策研究大学院大学連携講師。法学修士、博士候補。内閣府宇宙政策委員会委員（2013年～2014年）、国際宇宙法学会理事（2013年～2016年）。専門は国際法、安全保障、宇宙法。

関連著作：「宇宙開発・利用とデュアルユース」『軍事研究を哲学する—科学技術とデュアルユース—』（昭和堂、2022年）、「宇宙と安全保障の歴史」『宇宙の研究開発利用の歴史—日本はいかに取り組んできたか—』（大阪大学出版会、2022年）、「宇宙ゴミ（スペースデブリ）への対応：状況認識から総合的な宇宙利用対策へ」『海外事情』（拓殖大学海外事情研究所、2020年）。

おがさわら こう

小笠原 宏



東京理科大学創域理工学部機械航空宇宙工学科教授

三菱重工業株式会社防衛・宇宙セグメント宇宙事業部副事業部長、技師長、東京理科大学理工学部教授等を経て、2023年から現職。日本航空宇宙学会フェロー、一般社団法人宇宙旅客輸送推進協議会理事。博士（工学）。専門は航空宇宙工学 高速空気力学。

関連著作：「三菱重工の宇宙事業の歴史」『宇宙の研究開発利用の歴史—日本はいかに取り組んできたか—』（大阪大学出版会、2022年）、「再突入機の空力加熱分布推定に関する研究」『日本機械学会論文集 B編』（日本機械学会、1998年9月）、「宇宙往還実験機HOPE-Xの翼前縁の空力加熱に関する考察」『日本機械学会論文集 B編』（日本機械学会、1998年4月）。

さいき かずと

佐伯 和人



立命館大学総合科学技術研究機構教授・
立命館大学宇宙地球探査研究センター（ESEC）センター長

大阪大学大学院理学研究科准教授等を経て、2023年4月から現職。同7月ESEC設立時にセンター長就任。小型月着陸実証機SLIM計画、月極域探査機LUPEX計画に参加。博士（理学）。専門は惑星地質学、鉱物学、火山学。

関連著作：「月資源開発から始まる人類の宇宙フロンティア進出」『宇宙航空環境医学』（日本宇宙航空環境医学会、2021年3月）、『月はすごい：資源・開発・移住』（中央公論新社、2019年）、『世界はなぜ月をめざすのか—月面に立つための知識と戦略—』（講談社、2014年）。

たけうち ゆう

竹内 悠



慶應義塾大学宇宙法研究所研究員・宇宙航空研究開発機構

宇宙航空研究開発機構総務部法務課、第一衛星利用ミッション本部事業推進部主査、有人宇宙技術部門事業推進部主任、外務省総合外交政策局宇宙室（出向）等を経て、2021年から研究開発部門研究推進部主任。慶應義塾大学法学部非常勤講師（2015年～2017年）。法学修士（LLM）。専門は国際宇宙法。

関連著作：「宇宙法政策の形成過程における法律家の役割」『法律のひろば』（ぎょうせい、2021年4月）、「国際宇宙交通管理（STM）レジームによる国際宇宙ガバナンス確立の必要性」『法学政治学研究』（慶應義塾大学大学院法学研究科内『法学政治学論究』刊行会、2019年）、「世界の宇宙ビジネス法（第6回）宇宙交通管理（STM）とは何か」『国際商事法務』（国際商事法務研究所、2018年）。

こづか そういちろう

小塚 莊一郎



学習院大学法学部教授

千葉大学法経学部助教授、上智大学大学院法学研究科教授等を経て、2010年から現職。博士（法学）。IBA（国際法曹協会）宇宙法委員会委員長（2016年～2017年）。専門は商法、宇宙法。

関連著作：「宇宙開発利用の今後と法的課題」『法律のひろば』（ぎょうせい、2021年4月）、『世界の宇宙ビジネス法』（編著、商事法務、2021年）、『宇宙六法』（編集、信山社、2019年）、『宇宙ビジネスのための宇宙法入門』（編著、有斐閣、2018年）。

もりた のりこ

森田 倫子

◇開催趣旨説明



国立国会図書館専門調査員・
調査及び立法考査局文教科学技術調査室主任

調査及び立法考査局文教科学技術課科学技術室長、経済産業調査室主任調査員、農林環境課長、国会レファレンス課長、主幹・調査企画課長事務取扱、調査及び立法考査局次長、衆議院常任委員会専門員・農林水産調査室長、調査及び立法考査局農林環境調査室主任を経て、令和4年4月から現職。

プログラム（予定）

14:00-14:05 開会挨拶・趣旨説明

国立国会図書館専門調査員・調査及び立法考査局文教科学技術調査室主任 森田 倫子

14:05-15:20 パネリスト報告

(1) 宇宙安全保障

防衛省防衛研究所政策研究部軍事戦略研究室主任研究官 橋本 靖明 氏

(2) 宇宙輸送システム

東京理科大学創域理工学部機械航空宇宙工学科教授 小笠原 宏 氏

(3) 有人宇宙計画と宇宙探査

立命館大学総合科学技術研究機構教授・
立命館大学宇宙地球探査研究センター（ESEC）センター長 佐伯 和人 氏

(4) 宇宙の持続的利用

慶應義塾大学宇宙法研究所研究員・宇宙航空研究開発機構 竹内 悠 氏

(5) 宇宙ビジネス

学習院大学法学部教授 小塚 莊一郎 氏

15:20-15:30 休憩

15:30-15:40 問題提起

名古屋大学大学院情報学研究科特任教授・
国立国会図書館客員調査員 渡邊 浩崇 氏

15:40-16:58 パネルディスカッション及び質疑応答

ファシリテータ 渡邊 浩崇 氏

16:59-17:00 閉会挨拶

国立国会図書館調査及び立法考査局文教科学技術課科学技術室長 東 弘子

ご参加の皆様へ（お願い）

- 配信映像の録音、録画、転載、転送はご遠慮ください。
- シンポジウムで使用するソフトウェアについての技術的なお問合せやサポートに主催者が応じることはできません。何卒ご了承ください。